

産業廃棄物処理計画書

R7年6月17日

札幌市長様

提出者

住所 〒007-0882

札幌市東区北丘珠2条4丁目1-20

氏名 有限会社 大瀧工業

取締役 大瀧 慎二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-776-6010

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 大瀧工業
事業場の所在地	札幌市東区北丘珠2条4丁目1-20
計画期間	令和7年 4月 1日～令和8年 3月 31日

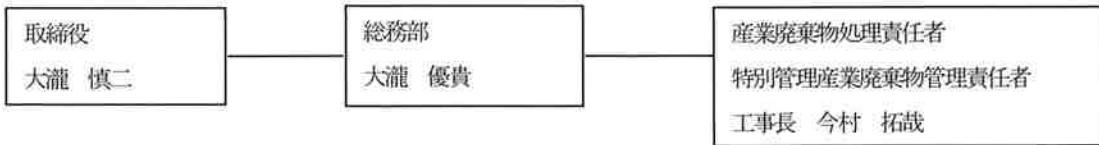
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業 土木工事業
② 事業の規模	売り上高 177,000千円 資本金400万円
③ 従業員数	7人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→中間処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 木くず→中間処理業者に委託し、燃料用チップとして再資源化 金属くず→現場で分別し、再生処理業者へ売却→再利用 建廃→中間処理業者に委託し、選別し、中間処理を終えたら最終処分 廃プラ→中間処理業者に委託し、プラスチック原料として再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（R6 年度）実績】		
	産業廃棄物 の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	4000 t	190 t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・工法を改善し、排出量の減量に取り組んだ。 ・余分な廃棄物の排出を抑制した。 ・分別解体により再利用可能品をしっかり分けた。 			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物 の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	3600 t	190 t
(今後実施する予定の取組)			
<p>実施予定取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量の減量に努める 			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類、木くず、廃石膏ボード、廃プラスチックは分別している。 ・石綿含有産業廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施している。 	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<p>実施予定取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混合廃棄物についても、可能な限り分別を実施し、分別解体に努める。 	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（R6 年度）実績】			
① 現状		産業廃棄物の種類	建廃	廃プラ	
		排出量	70 t	35 t	
(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> ・工法を改善し、排出量の減量に取り組んだ。 ・余分な廃棄物の排出を抑制した。 ・分別解体により再利用可能品をしっかり分けた。 					
		【目標】			
② 計画		産業廃棄物の種類	建廃	廃プラ	
		排出量	70 t	35 t	
(今後実施する予定の取組)					
<p>実施予定取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量の減量に努める 					

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、廃石膏ボード、廃プラ、金属くずは分別している。 ・石綿含有産業廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施予定取り組み 混合廃棄物についても、可能な限り分別を実施し、分別解体に努める。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（R6 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	
		排出量	103 t	
① 現状		(これまでに実施した取組)		
② 計画		・分別解体により再利用可能品をしっかりと分けた。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、廃石膏ボード、廃プラスチック、金属くずは分別している。 ・石綿含有産業廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように確実に分別し、保管を実施している。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施予定取り組み ・混合廃棄物についても、可能な限り分別を実施し、分別解体に努める。
② 計画	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—

(これまでに実施した取組)

① 現状

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—

(今後実施する予定の取組)

② 計画

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—	—

(これまでに実施した取組)

① 現状

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—	—

(今後実施する予定の取組)

② 計画

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】			
産業廃棄物の種類			—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量			—
(これまでに実施した取組)			
① 現状			
【目標】			
産業廃棄物の種類			—
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量			—
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ R6 年度）実績】			
産業廃棄物の種類			がれき類 木くず
全処理委託量			4000 t 190 t
優良認定処理業者への 処理委託量			138 t 20 t
再生利用業者への 処理委託量			t t
認定熱回収業者への 処理委託量			t t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			t t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、必要な許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。 ・契約の段階で、処理業者の処理方法を確認し、再生利用業者への処理委託に努めている。 			
① 現状			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】			
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t
(これまでに実施した取組)			
① 現状			
【目標】			
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ R6 年度）実績】			
産業廃棄物の種類	建廃	廃プラ	
全処理委託量	70 t	35 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	47 t	17 t	
再生利用業者への 処理委託量	t	t	
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
① 現状			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】			
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t
(これまでに実施した取組)			
① 現状			
【目標】			
産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ R6 年度）実績】			
産業廃棄物の種類	金属くず		
全処理委託量	103 t	t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	103 t	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t
(これまでに実施した取組)			
① 現状			

		【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	
	全処理委託量	3600 t	190 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	200 t	50 t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
(今後実施する予定の取組) ・再生利用が可能な産業廃棄物については、再生利用業者へ委託する。				
※事務処理欄				

(第5面)

【目標】			
② 計画	産業廃棄物の種類	建廃	廃プラ
	全処理委託量	70t	35t
	優良認定処理業者への 処理委託量	50t	20t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

(第5面)

【目標】		
産業廃棄物の種類	金属くず	
全処理委託量	100 t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請け完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令委第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。